

人権コンサート

金子みすゞの心・マザーテレサのメッセージ

プロフィール

童謡詩人金子みすゞの詩に曲をつけ、歌い語る活動を全国各地で行い14年目を迎えた。小学校や高等学校の校歌、CMソングなども制作。ちひろ作曲の「山口市民の歌」が山口市、「一寸法師」が長門市にてそれぞれ防災無線で各市内全域に放送中。パーソナリティを担当したエフエム山口特別番組「こだまでしょうか〜今、金子みすゞの心を聴きたい〜」が、第7回日本放送文化大賞ラジオ部門準グランプリを受賞し全国放送となった。放送開始から11年を迎えたKRY山口放送ラジオ「ちひろDEブレイク」は、毎週日曜日午後2時から放送（インターネットでも放送）。昨年8月には広島東洋カープ公式戦（マツダスタジアム）にて国歌斉唱を行った。宇部フロンティア短期大学客員教授。金子みすゞと同郷の山口県出身。



ちひろの歌と語りが

あなたの心に染みわたる



写真提供：金子みすゞ著作保存会

Talk & Concert

10月25日(水)

(開場：午後1時30分)
開演：午後2時00分
～午後3時30分

場所：北方市民センター

<入場無料>

※事前申込不要

金子みすゞ (1903～1930)

現在の山口県長門市仙崎に生まれる。大正末期頃、すぐれた童謡詩を発表するも26歳の若さでこの世を去る。東日本大震災直後のテレビCMで「こだまでしょうか」が朗読され一躍全国に広がった。学校の教科書には数編の詩が掲載されており、その詩のまなざしが注目されている。

<主催> 北方市民センター
北九州市小倉南区北方2丁目16-10
TEL093-951-0133

<共催> 北方地域交流センター
北九州市小倉南区北方3丁目31-1
TEL093-931-6594

